Encore

取扱説明書
（保証書付）

電源制御ユニット
ENP-1212

このたびは、電源制御ユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意　必ずお守りください

●ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。左図の場合は一般的な行為を指示する表示です。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる
煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。
プラグをコンセントから抜け

分解／改造はしない
火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

異物を入れない
水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない
感電の原因となります。

壁から4cm以上の間隔をおいて設置する
内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。

ラックにマウントする際はラックの説明に従って金具類を正しく使用し、固定してください。取付けに不備があると落下したりしてけがの原因となります。

UNI-PEX

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

工事は工事店に依頼する
工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続が終わりましたら、必ず端子カバーを取り付けてください。感電の原因となることがあります。

1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。 内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

設置・使用上のご注意

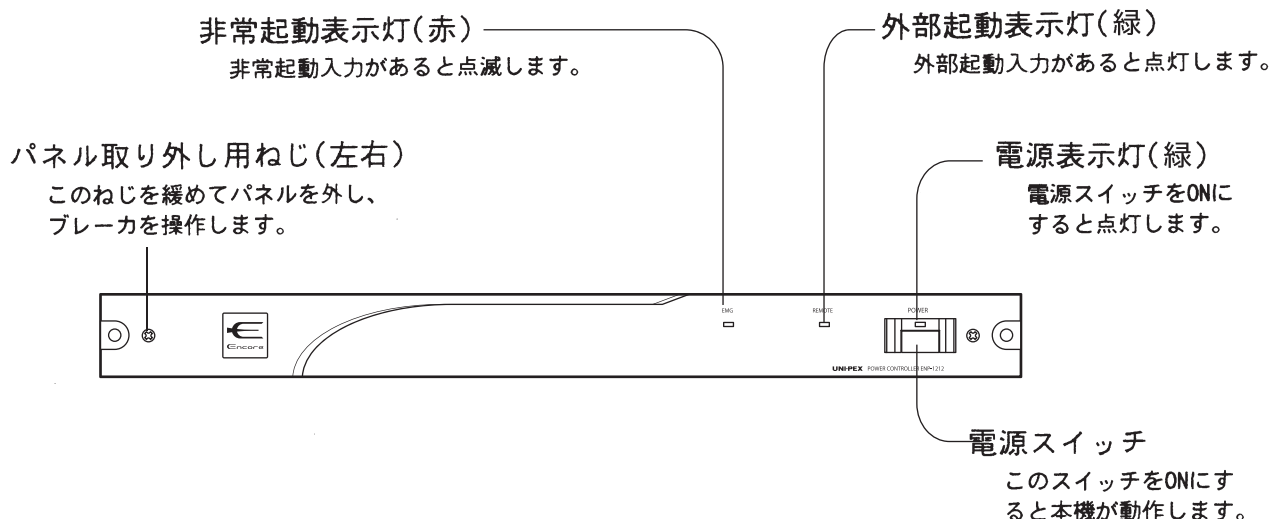
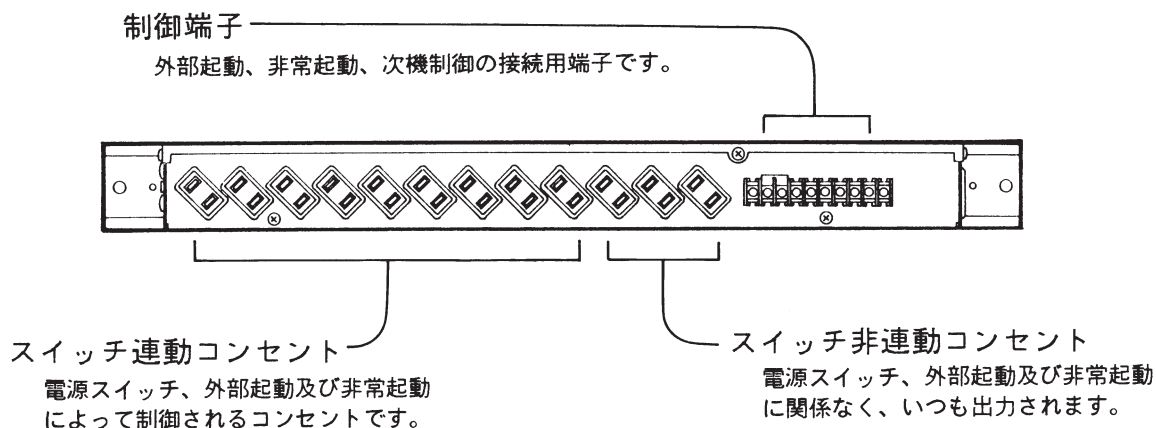
●AC100V電源関係の配線工事をおこなう場合は、必ず電気工事士の資格が必要です。
●電源の配線は、配電盤より本機のブレーカへ直接接続してください。
●本機のアース端子から必ず大地アース(第3種接地工事)をしてください。
●ブレーカへの接続電源は、電流容量の充分とれるものを使用してください。
(より線の場合は2.0平方mm以上、単線の場合は直径1.6mm以上)
●ブレーカへの接続の際、より線(2.0〜3.5平方mm)を使用する場合は付属の棒端子をご使用ください。
●その他の配線工事に関する詳細は内線規程に従ってください。
●入切できる容量は最大20A(AC100V)までです。接続機器の合計容量に充分ご注意ください。
●本機に音響機器以外の機器は絶対に接続しないでください。
●EIAラックに組み込む場合は、本機と電力アンプの間には必ず、1U以上の間隔を開けてください。
別売の換気パネル ASB-102F(別売品)などを取り付けることをおすすめします。
●次のような場所では使用しないでください。誤動作、故障、漏電の原因になります。
・使用温度範囲をこえる−10℃以下、+55℃以上の場所／使用湿度範囲をこえる85%以上の場所／屋外などの雨や日光に直接当たる場所／結露が生じる場所／亜硫酸ガスやアンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所／激しい振動や衝撃が発生する場所
●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。
※高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など
②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害
④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害
⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

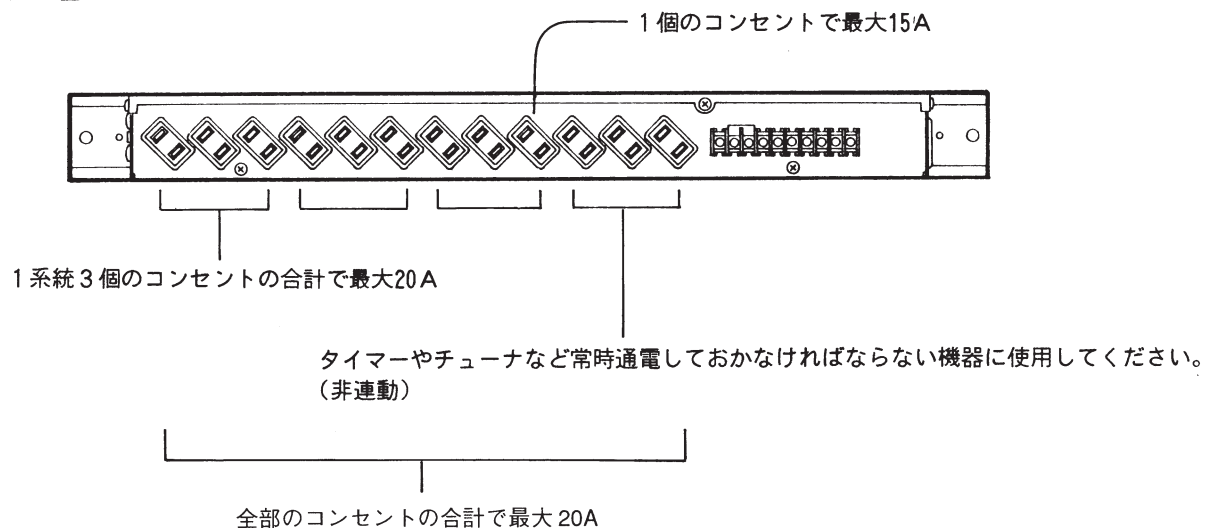
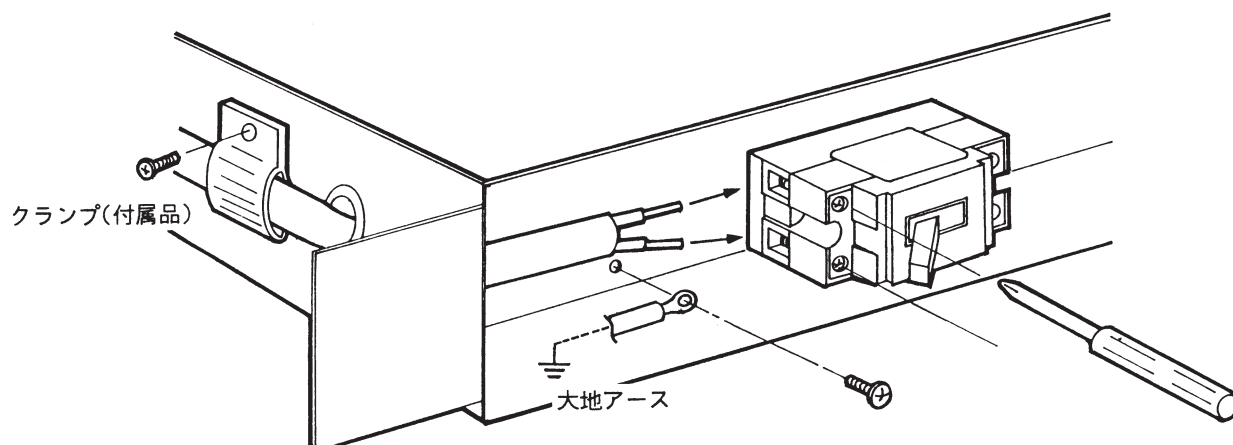
本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。
外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記❶〜❹の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら直ちに電源を切り(使用中止)、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。
特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに買い換えの検討をお願いします。
❶煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。 ❷電源コード・電源プラグが異常に熱い。または亀裂や傷がある。
❸本機に触れるとビリビリと電気を感じる。 ❹電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

各部の名称と説明（前面）

（後面）

接続のしかた

次の容量以下で使用してください。

AC電源の配線

クランプ(付属品)
大地アース

○前面パネルを外し、ＡＣ100Ｖをブレーカに直接接続してください。
○ブレーカは工事が終了するまで必ずOFFにしておいてください。
○ブレーカへの接続電線は、電流容量の十分とれるものを使用してください。
（より線の場合は2.0平方mm以上、単線の場合は直径1.6mm以上）
○ブレーカへの接続の際、より線(2.0〜3.5平方mm)を使用する場合は付属の棒端子をご使用ください。
○付属の丸形端子でアース端子にねじ留めし、必ず大地アース（第３種接地工事）をしてください。
○付属のクランプでケーブルを本機に止めて、力がケーブルに直接加わらないようにしてください。

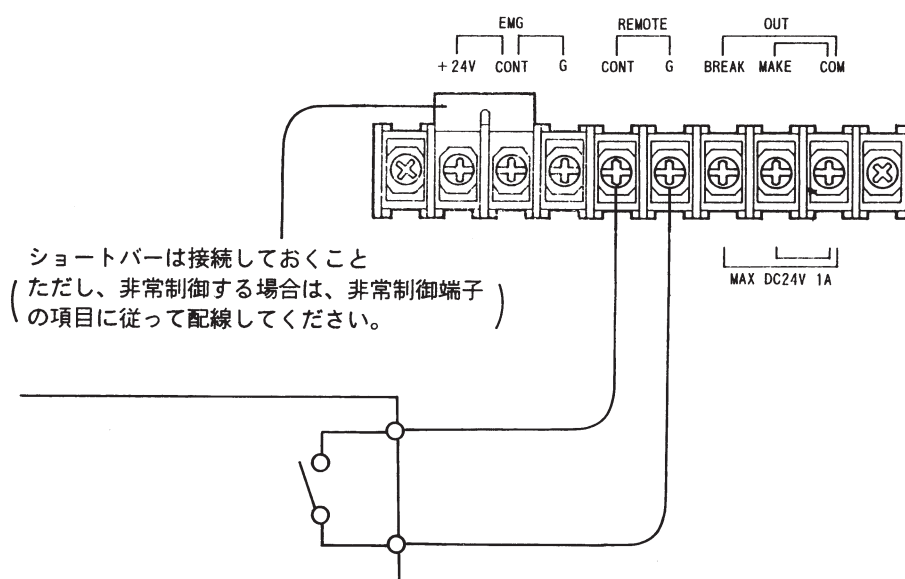
制御端子の接続

□ ＲＥＭＯＴＥ（外部起動入力）

他の機器から本機の電源を入切するときに使用します。

EMG　REMOTE　OUT
＋24V　CONT　G　CONT　G　BREAK　MAKE　COM

ショートバーは接続しておくこと
（ただし、非常制御する場合は、非常制御端子の項目に従って配線してください。）

MAX DC24V 1A

REMOTEのCONT端子とG端子の間をメイクします。接点容量は DC24V 10mA以上のものが必要です。
メイクすると外部起動表示灯が点灯し、ACコンセントが通電状態になります。

□ ＥＭＧ（非常制御入力）

非常用放送設備からの制御信号で非常時の本機の電源を遮断するときに使用します。

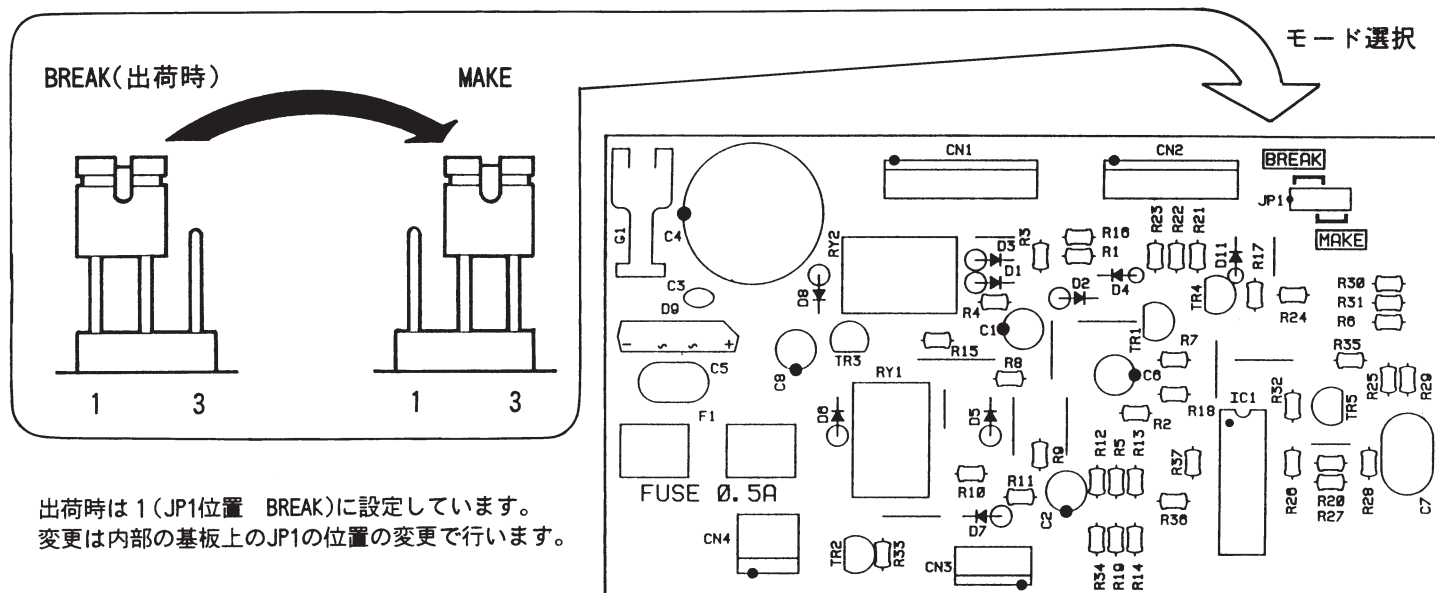
本機は次の４つのモードが選択できます。

1	常時DC24V受電、非常時断	JP1位置　BREAK
2	非常時のみDC24V受電	JP1位置　MAKE
3	無電圧ブレイク接点	JP1位置　BREAK
4	無電圧メイク接点	JP1位置　MAKE

BREAK（出荷時）　MAKE

1 3　1 3

モード選択

出荷時は１（JP1位置　BREAK）に設定しています。
変更は内部の基板上のJP1の位置の変更で行います。

□ 常時DC24V受電、非常時断

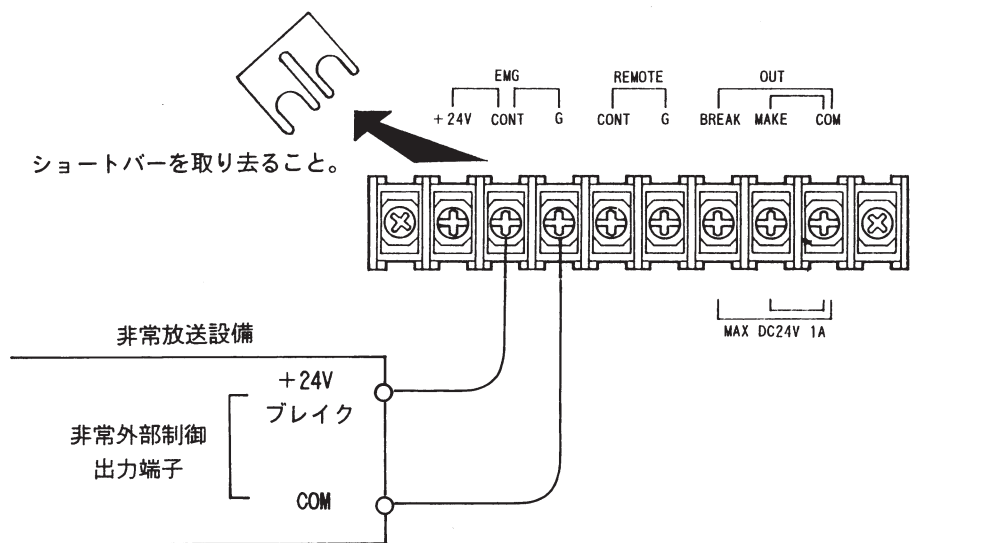
基板上JP１位置はBREAKにあることを確認してください。（出荷時設定位置）

ショートバーを取り去ること。

EMG: +24V CONT G　REMOTE: CONT G　OUT: BREAK MAKE COM

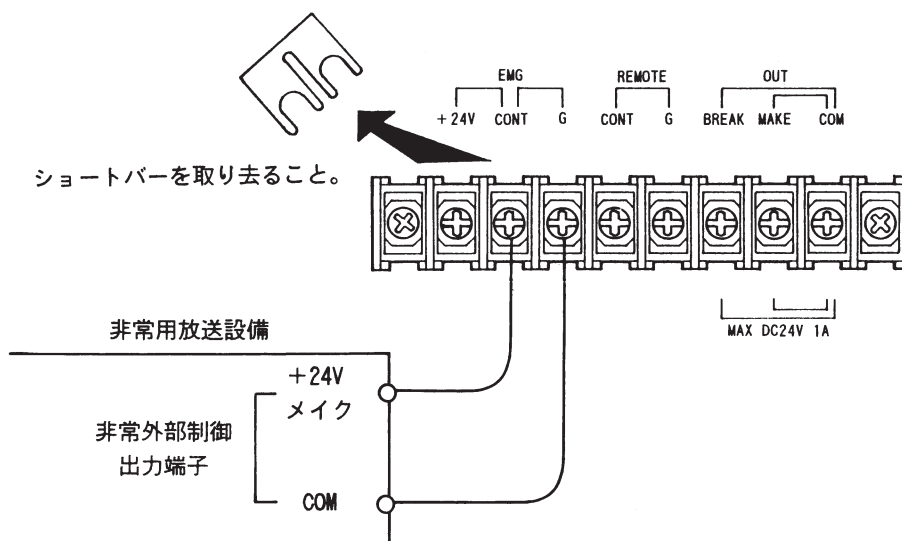
MAX DC24V 1A

非常放送設備

非常外部制御出力端子: ＋24V ブレイク / COM

非常外部制御出力端子の容量はDC24V 10mA以上のものが必要です。

◆ ショートバーを取り去ってください。
◆ 非常用放送設備の非常外部制御出力端子のDC24Vブレイク端子から本機のEMGのCONT端子に、COM(共通、E)端子から本機のEMGのG端子に接続してください。

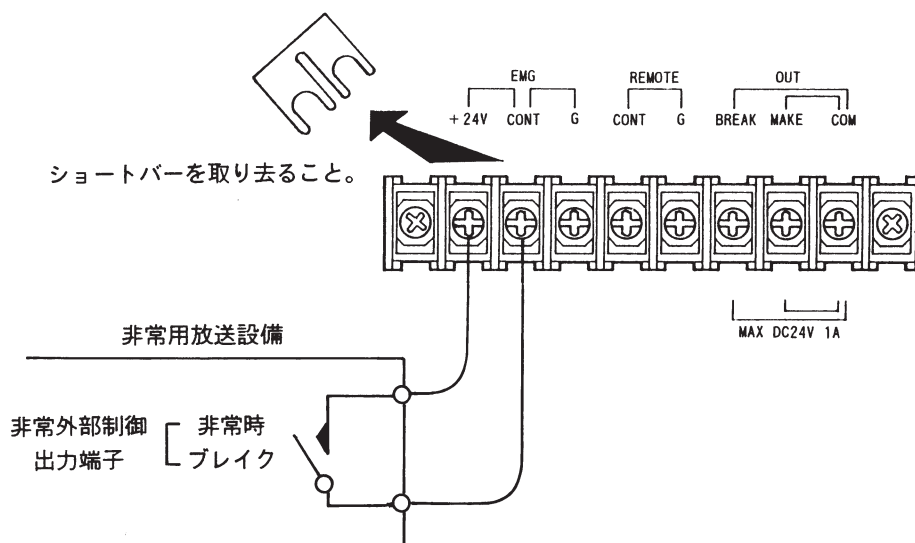
□ 非常時のみDC24V受電

基板上JP 1 位置はMAKEにあることを確認してください。

非常外部制御出力端子の容量はDC24V 10mA以上のものが必要です。

◆ ショートバーを取り去ってください。

◆ 非常用放送設備の非常外部制御出力端子のDC24Vメイク端子から本機のEMGのCONT端子に、COM(共通、E)端子から本機のEMGのG端子に接続してください。

□ 非常時無電圧ブレイク接点

基板上JP 1 位置はBREAKにあることを確認してください。(出荷時設定位置)

非常外部制御出力端子の容量はDC24V 10mA以上のものが必要です。

◆ ショートバーを取り去ってください。

◆ 非常用放送設備の非常外部制御出力端子から本機のEMGの＋24V端子とCONT端子に接続してください。

□ 非常時無電圧メイク接点

基板上JP１位置はMAKEにあることを確認してください。

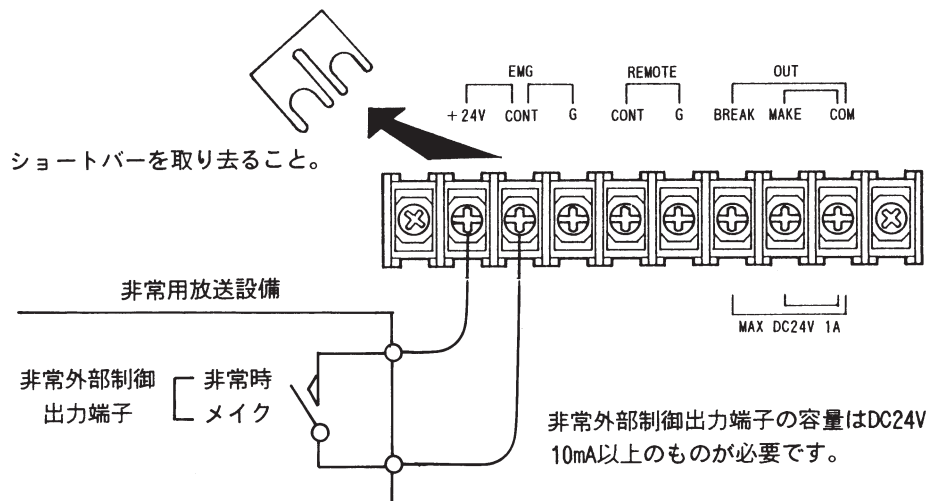
EMG　REMOTE　OUT
＋24V　CONT　G　CONT　G　BREAK　MAKE　COM

ショートバーを取り去ること。

MAX DC24V 1A

非常用放送設備

非常外部制御出力端子　非常時メイク

非常外部制御出力端子の容量はDC24V
10mA以上のものが必要です。

- ◆ ショートバーを取り去ってください。
- ◆ 非常用放送設備の非常外部制御出力端子から本機のEMGの＋24V端子とCONT端子に接続してください。

□ ＯＵＴ(次機制御端子)　◎ 次機制御

AC100Vの消費電流が本機１台(20A)の容量で不足するときは、電源制御ユニットを増設することができ、１台目を制御するだけで２台目を制御することができます。

EMG　REMOTE　OUT
＋24V　CONT　G　CONT　G　BREAK　MAKE　COM

注)
非常制御時のみ
ショートバーを取り去ること。
非常外部制御出力端子の容量はDC24V
10mA以上のものが必要です。

１台目

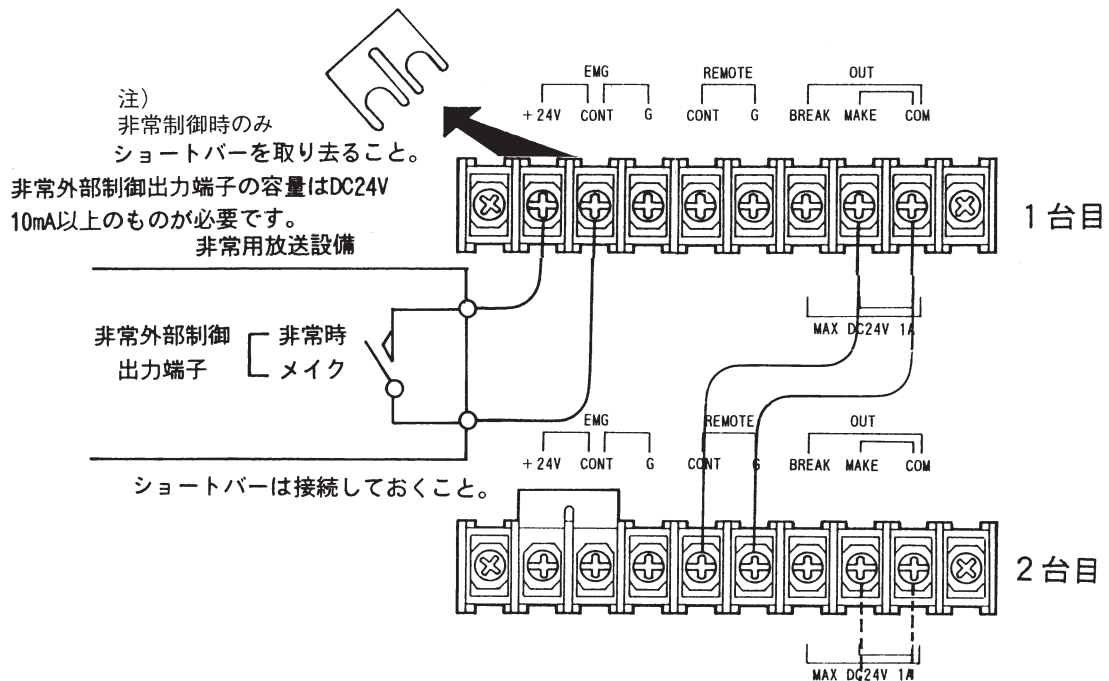
非常用放送設備

非常外部制御出力端子　非常時メイク

MAX DC24V 1A

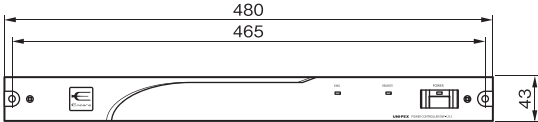
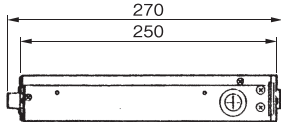
ショートバーは接続しておくこと。

２台目

MAX DC24V 1A

- ◆ １台目のショートバーは取り去り、２台目のショートバーは接続しておいてください。
- ◆ １台目のOUTのMAKE端子とCOM端子を２台目のREMOTEのCONT端子、G端子に接続してください。
- ◆ １台目の電源“入”の約0.5秒後に２台目の電源が入ります。
  これは電源投入時の突入電流を避けるためです。(“切”の場合も約0.5秒遅れます。)
- ◆ ２台目の電源スイッチはOFFにしておいてください。

定格

使用電源	ＡＣ100Ｖ　50/60Hz
消費電力	約 6W
電源コンセント	12回路
制御電流容量	電源コンセント１個あたり　最大 15Ａ １系統（３個あたり）　最大 20Ａ 合　計　最大 20A
外部起動端子	１回路
非常制御端子	１回路
次機制御出力	１接点（ＤＣ24Ｖ 1Ａ）
制御入出力信号	外部起動入力 ： 外部メイクで起動 非常制御（１）： 常時ＤＣ24Ｖ受電、非常時断で出力遮断 （内部JP１差替えにより非常時ＤＣ24Ｖ受電で出力遮断） 非常制御（２）： 外部接点ブレイクで出力遮断 （内部JP１差替えにより外部接点メイクで出力遮断） 次機制御出力 ： 無電圧メイク接点出力（約0.5secの遅延出力） 次機への外部起動入力端子へ接続
表示	POWER ： LED（緑） REMOTE： LED（緑） EMG　： LED（赤）
使用温度範囲	－10℃ ～ ＋55℃
外装	パネル（アルミニウム） マンセル N1 近似色 ブラックヘアライン仕上げ ケース（鋼板） マンセル N1 近似色 ブラック塗装仕上げ
寸法	幅 480mm　高さ 43mm　奥行 270mm
重量	約 3.5kg
付属品	取扱説明書(保証書付) 1、M5×25ねじ 2、飾りワッシャ 2、棒状端子 2、丸形端子 1、M4×8十字穴付六角セムスボルト 4、M5×10十字穴付六角セムスボルト 4、M3×10セムスねじ 2、ショートバー 1、コードクランプ 2

外観寸法図
（単位mm）

電源制御ユニット　ENP-1212　保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日　平成　年　月　日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部)6ヶ月
お客様	お名前　様 ご住所〒 電話(　　)　-
販売店	店名·住所　印 電話(　　)　-

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

無料修理保証の範囲

①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
②修理の際は必ず保証書の提示があること。
③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

（次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。）
①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
②不当な修理改造による故障、損傷。
③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。

連絡先のご案内

修理·お取扱い·お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。

①品　名　②品　番　③お買い上げ日　④故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所	〒064-0811 札幌市中央区南11条西 10-2-17	TEL.(011)511-5505(代)	FAX.(011)511-5529
釧路営業所	〒085-0025 釧路市宝町 3-8	TEL.(0154)25-3156(代)	FAX.(0154)25-6261
仙台営業所	〒984-0015 仙台市若林区卸町 3-6-11	TEL.(022)232-1295(代)	FAX.(022)232-1297
東京営業所	〒110-0008 東京都台東区池之端 2-3-17	TEL.(03)3821-3721(代)	FAX.(03)3827-5423
新潟営業所	〒950-0922 新潟市中央区山二ツ 4-6-19	TEL.(025)287-3611(代)	FAX.(025)287-3613
金沢営業所	〒920-0362 金沢市古府 1-190	TEL.(076)240-4577(代)	FAX.(076)240-6737
静岡営業所	〒422-8037 静岡市駿河区下島152-5	TEL.(054)238-1446(代)	FAX.(054)238-1453
名古屋営業所	〒466-0051 名古屋市昭和区御器所 1-3-29	TEL.(052)871-1671(代)	FAX.(052)872-4128
大阪営業所	〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-2-7	TEL.(06)6632-2855(代)	FAX.(06)6644-1624
高松営業所	〒760-0079 高松市松縄町1030-6-203	TEL.(087)868-1181(代)	FAX.(087)868-1331
広島営業所	〒733-0032 広島市西区東観音町17-10 2F	TEL.(082)535-5511(代)	FAX.(082)535-5513
岡山連絡所		TEL.(086)244-2317(代)	FAX.(086)244-4461
福岡営業所	〒810-0074 福岡市中央区大手門 3-9-15	TEL.(092)721-5000(代)	FAX.(092)721-5089
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島市上之園町 8-12	TEL.(099)250-0220(代)	FAX.(099)257-3327

ユニペックス株式会社
本社／営業本部　〒573-1132　大阪府枚方市招提田近3-6
お客様相談窓口 (CS課)　TEL.(072)855-3334

製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

RKTENP1212-H0-0